



版画／蔵書票がつないだ、 「台湾 × 斎藤清」展。

2018年7月22日[日]ー9月9日[日]

〔開館時間〕 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

〔休館日〕 毎週月曜日(ただし月曜日が祝祭日の場合はその翌日)

〔観覧料〕 一般 510円(410円)/高・大学生 300円(200円)/
中学生以下無料(カッコ内は団体料金)

〔主催〕 斎藤清美術館、国立台湾文学館

〔特別協力〕 台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

〔協力〕 芸文交流台湾⇄会津プロジェクト実行委員会、
真理大学台湾文学資料館、
日本書票協会、福島県立博物館

〔後援〕 中華民国文化部、福島民報社、
福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ

斎藤清美術館
KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU

会津若松支店

料金後納郵便

台湾コレクション

版画／蔵書票がつないだ、「台湾 × 斎藤清」展。

2018年7月22日[日]－9月9日[日]

「蔵書票」とは、本の表紙裏に貼付して、その本の所有者を示す小紙片のこと。
国際的には、Exlibris/エクスリブリスと称される。

日本では、明治時代以降、当時活躍していた版画家たちによって、
木版画や銅版画などでこの蔵書票が手掛けられ、美術コレクションの対象にもなった。
わずか10センチ四方のサイズながら、その美しさは、まるで紙の宝石。

版画／蔵書票がつないだ、「台湾×斎藤清」展では、斎藤清の希少な蔵書票をはじめ、
会津出身の文学者 西川満が台湾に持ち込んで、
現地で大ブームとなった貴重な蔵書票もあわせてご紹介。
——「蔵書票」が育んだ日本と台湾の交流もお楽しみください。

SPECIAL EVENTS (イベントのご案内)

蔵書票作家がやってくる!「買う、蔵書票!」

●8月4日(土) 14:00～／8月5日(日) 10:00～ (蔵書票作家・松原秀子氏)

ギャラリーツアー!「蔵書票ってナニ? その魅力を探る!」

●8月11日(土)／9月1日(土) 14:00～ (20分程度)

蔵書票の歴史や鑑賞のポイント、その楽しみ方を分かりやすく解説。

同時開催

「企画展／華麗なる島－会津出身の文化人・西川満が愛した台湾、繋いだ日本」

●7月22日(日)～8月19日(日)

「芸文交流台湾⇄会津プロジェクトフォーラム」

●7月22日(日) 15:00～17:00

台湾と日本の友好の歴史、そして未来を考えるシンポジウム。

場所：福島県立博物館(会津若松市) 詳細は福島県立博物館(0242-28-6000)まで

★個々のイベントの詳細情報につきましては、斎藤清美術館公式HP、FB、リーフレットをご覧ください。

★時間、内容につきましては変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

〒969-7201

福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙187

TEL 0241-42-3630

e-mail bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp



斎藤清美術館
KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU